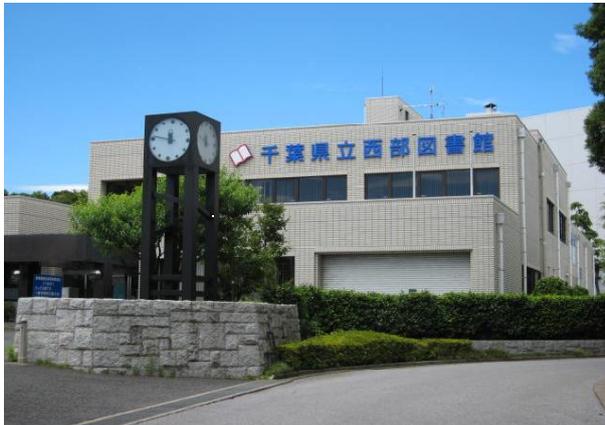


要 覧

平成22年度



中央図書館



西部図書館



東部図書館

千葉県立中央図書館
千葉県立西部図書館
千葉県立東部図書館

◇◇ 目 次 ◇◇

I 千葉県立図書館運営方針

基本方針	1
平成22年度事業計画	2
平成22年度図書館サービス目標	11

II 事業報告

平成21年度事業報告	13
平成21年度千葉県立図書館の運営状況の評価	21

III 資料編

1 沿革	23
2 組織・職員	29
3 施設の概要	30
4 予算	42
5 統計資料	43
6 図書館利用規則	55
7 県内公立図書館設置状況	57
8 県内公共図書館・図書館未設置市町村読書施設一覧	58
9 利用案内	61
10 交通案内	61

I 千葉県立図書館運営方針

県立図書館は、法令及び千葉県図書館協議会答申等を踏まえ、県民の生涯にわたる多様な学習要求に応え、県民が等しく図書館サービスを楽しみ、県民文化の向上に寄与するよう、下記の基本方針に基づき、平成22年度事業計画及び図書館サービス目標を定める。

【基本方針】

1 県立図書館は、中央、西部及び東部図書館の3館が一体となって県民の多様化した図書館サービスへの要求に応えるものとし、県内公共図書館、高等学校図書館及び大学図書館等との連携を図りながら、県内図書館サービス全体の向上を図るものとする。

特に、平成22年が国民読書年であることを踏まえ、県内図書館等と連携し県民の一層の読書振興に努めるとともに、読書県「ちば」を目指すための協力・援助機能等の充実に努めるものとする。

2 県立図書館は、県内の中核的調査研究図書館としての機能を発揮するものとし、必要な資料収集及びレファレンス機能の向上に努めるとともに、本県関係資料の最終保存館としての機能の強化を図る。

3 県立図書館は、公共図書館ネットワークの中心館としての機能を発揮するものとし、市町村立図書館の求めに応じた援助や学校図書館との連携強化等を図る。

4 県立図書館は、図書館未設置市町村の読書施設に対し、補完サービスを行うとともに、当該市町村の求めに応じた必要な援助を行う。

5 県立図書館は、県内公共図書館職員の資質向上のための研修の充実に努める。

6 県立図書館は、「千葉県立図書館のサービス評価指標」の達成に努めるとともに、達成状況の自己点検及び第三者評価を行う。

【平成22年度県立図書館事業計画】

県立図書館は、県立図書館運営方針を踏まえ、中央図書館、西部図書館及び東部図書館の密接な連携を図りながら、図書館サービス指標の達成に努め、次の事業を推進する。

1 資料の収集・整理・保管

(1) 収集

「千葉県立図書館資料収集方針」に基づき、県民の調査研究活動の支援及び県内市町村立図書館等への協力・援助に資する資料を収集するものとし、特に3館が一体となって県立図書館全体の蔵書構築ができるよう、以下の点に留意し収集に努める。

中央図書館では、特に千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるほか、官公庁刊行物を始め、関係機関や県内の諸団体、個人の自費出版物等の収集・整備に努める。また、県内における児童サービスのセンター館として、児童資料及び児童書研究資料の充実を図る。

西部図書館では、市町村で整備しにくい自然科学・技術分野の資料収集に努めるとともに、逐次刊行物の蓄積と整備の充実を図る。

東部図書館では、文学・歴史の分野に留意しながら収集に努める。

(2) 整理

資料の発注から廃棄までの整理業務を電算システムを活用して行うものとし、装備については、バーコードラベル、背ラベル、不正持出し防止用の磁気テープ、フィルムコーティング等を施し、資料の保全を図る。

(3) 資料整備計画

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計	目 標 値	
購入図書資料	7,000冊	3,500冊	8,100冊	18,600冊	①	18,600冊
寄贈図書資料	3,940冊	2,100冊	2,260冊	8,300冊	②	8,300冊
千葉県関係資料 (購入・寄贈の内数)	2,100冊	550冊	550冊	3,200冊	③	3,200冊
逐次刊行物(購入)	204タイトル	457タイトル	307タイトル	968タイトル		

(4) 資料の保管

収集した資料を継続的・効率的に維持保存・利用するために、秋春2回(各9日間)の蔵書点検を行う。

また、書庫狭隘化への対応として、中央図書館書庫資料の一部を西部図書館へ移動する作業を継続するとともに、東部図書館への移動を開始する。

(5) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館等除籍資料を収集・寄贈受入れし、整理する。

2 奉仕業務

(1) 調査相談業務(レファレンスサービス)

ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料だけでなく外部データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や県内図書館等からの調査相談に対し、的確に回答する。

(目標値⑧ レファレンス件数 32,000件、⑩ 外部データベース件数 18件)

イ レファレンス事例の公開

調査回答事例を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームペー

ジで閲覧できるようにする。

(目標値⑨ a レファレンス事例データ提供件数 累計190件)

ウ 書誌作成

千葉県歴史関係雑誌記事索引(中央)、千葉県関係新聞記事索引(西部)、東総地域人名索引(東部)等の書誌作成や情報を探す際の道案内となるパスファインダー等を作成し、非来館型のレファレンスサービスの充実に努める。

(目標値⑩ a 千葉県関係索引データ作成件数 8,300件、⑨ b パスファインダー作成・更新件数 35件)

エ 資料の電子化(中央)

千葉県関係の貴重な絵地図や和装本、明治・大正時代の資料などを電子化し、ホームページで公開する。

(目標値⑫ 資料の電子化 400タイトル)

オ 研修会の開催(中央)

市町村立図書館等職員のレファレンス能力の向上のためレファレンス研修会(基礎研修3回・6月、インターネット情報検索研修1回・10月、レファレンスサービス専門研修1回・11月)、地域行政資料研修会(1回、7月)を開催する。

(2) 閲覧業務

ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複製サービスを行う。

(目標値④ 来館者数 508,000人、⑤ 貸出冊数(相互協力冊数を含む) 280,000冊、

⑥ 来館者満足度 70%以上)

イ 各種講座の開催

書庫見学会・図書館活用ミニ講座(中央、毎月第2金曜日・第4日曜日)、図書館まなびトーク・ワンポイント図書館活用講座(西部1回・11月)、読書ボランティア入門講座(西部、1回・7月)、障害者サービス入門講座(西部、1回・7月)、サイエンスカフェ(西部、1回・8月)中高年齢者に向けた再就職支援セミナー(西部、1回・10月)、文学歴史講座(東部、1回・11月)、名作映画鑑賞会(東部、毎月第3土曜日)、図書館の達人初級編・中級編(東部、毎月第2日曜日・年4回)を実施し県民の学習機会の拡充に努める。

ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、定期的に資料の展示を行うとともに、県民に役立つ課題解決型の企画展示を関係機関の協力を得て年1回以上開催する。

(目標値⑪ b 千葉県関係のテーマ展示 4回以上)

エ 職場体験・インターンシップの受入

中学生・高校生の職場体験、インターンシップの高校生・大学生を積極的に受け入れ、社会教育活動に貢献する。

(3) 障害者サービス

視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者、精神障害者、知的障害者、発達障害者等図書館の利用に障害のある方達が健常者と同じように資料の提供が受けられるように録音図書の貸出し・製作、対面朗読、図書の郵送貸出し等のサービスを行う。また、障害者用支援ソフトを組み込んだパソコンを対面朗読室内で提供する。

ア 録音図書の貸出し・製作

希望する録音図書を所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受けて提供したり、所蔵していない場合は自館で製作し貸出しを行う。

(目標値⑬ 録音図書貸出数 8,000タイトル)

イ 対面朗読

図書館音訳者が対面朗読室で、図書館の資料や、持ち込みの本などを朗読する。

ウ 録音図書のデジタル化

録音テープのデジタル化を推進し、「サピエ」（視覚障害者等への情報ネットワーク）への登録や製作した録音図書の配信等、利用者がインターネットで利用できる環境を整備する。

エ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、図書館音訳者の技術向上に資するため図書館音訳者養成講座を開催する。（中央2回・7月、西部6回・〔DAISY編集6～7月、音訳者養成11～12月〕、東部5回・9～10月）

（目標値⑳ 図書館ボランティアの育成 320人）

オ 障害者のための読書支援機器活用講座等の開催

視覚障害者、盲ろう者、県内公共図書館職員等を対象に、活字を読み上げる機器やデジタル録音図書の再生機器の活用方法を紹介するとともに、「サピエ」（視覚障害者等への情報ネットワーク）を実際に体験する。（中央4回・9月～11月、西部1回・2月）

カ 研修会の開催（西部）

県内公共図書館等職員を対象に、公共図書館における障害者サービスの向上を図るため、障害を持つ人に対する理解を深めるとともに、そのサービスの在り方について研修を行う。（1回、6月）

（4）児童サービス（中央）

ア 来館者サービス

資料の貸出しのほか、定例おはなし会（毎週土曜日）や春のおはなし会（1回・4月）、冬のおはなし会（1回・12月）、アドベンチャーライブラリー（1回・8月）を開催する。

（目標値⑭ 児童書の貸出冊数（相互協力冊数を含む） 33,000冊）

イ 市町村立図書館や学校図書館への援助

県内の児童サービスのセンター館として、図書館や学校等への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行うとともに、県内の子どもの読書活動に関する調査研究を行う。また、援助の一環として子どもの読書に関する講座等に講師を派遣する。

なお、学校図書館運営の充実や子どもの読書活動の推進については、生涯学習課、指導課及び特別支援教育課と連携して、その方策を検討していく。

ウ 研修会の開催

「児童サービス基礎研修会」を年4回（6、7、9、11月）開催し、県内公共図書館等児童サービス担当職員の養成に努める。

なお、研修内容については、質的充実を図るため、県内公共図書館や学校図書館のニーズ調査を踏まえ、検討を進める。

エ 子どもの本の読み聞かせ講座の開催

これまでは読み聞かせボランティアを中心にこの講座を開催してきたが、平成22年度は2回のうち1回を教職員を対象に初めて実施する。

（目標値㉑ 図書館ボランティアの育成 320人）

オ 障害者用資料の製作

児童資料の録音図書や点訳絵本を製作する。

講座等実施事業一覧（研修事業は別掲）

事業名	中央	西部	東部
書庫見学会	第2金曜日 第4日曜日	未定	図書館の達人 初級編 毎月第2日曜日
図書館活用講座	図書館活用ミニ講座 第2・4金曜日	ワンポイント図書館活用講座 11月中旬	図書館の達人 中級編 年4回

事業名	中央	西部	東部
読書ボランティア 入門講座		6月	
障害者サービス入 門講座	12月21日（火）	7月28日（水）	
県民の本棚 みんなが選んだ 「ちばの一冊」	推薦図書募集期間7月6日（火）～9月7日（火） 推薦リスト発表10月27日（水）		
図書館まなび トーク		11月26日（金）	
サイエンスカフェ		8月21日（土）	
中高年齢者に向け た再就職支援セミナー		10月22日（金）	
文学・歴史講座			11月27日（土）
名作映画鑑賞会			毎月第3土曜日
図書館音訳者養成 講座	11月18日（木） 11月25日（木）	DAISY編集講座 6月9日（水） 7月2日（金） 7月21日（水） 音訳者養成講座 11月17日（水） 11月24日（水） 12月1日（水）	9月1日（水） 9月8日（水） 9月15日（水） 9月29日（水） 10月7日（木）
障害者のための読書 支援機器活用講座	9月7日（火） 9月15日（水） 9月24日（金）	2月中旬	
盲ろう者のための読 書支援機器活用講座	11月10日（水）		
定例おはなし会	毎週土曜日		
春のおはなし会	4月24日（土）		
冬のおはなし会	12月		
アドベンチャーライブ ラリー	8月25日（水）		
子どもの本の読み 聞かせ講座	8月20日（金） 1月 ※開催場所未定		

3 協力・援助業務

(1) 図書館協力業務

ア 資料の図書館間貸出し及び複製

県内各市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行う。また、所蔵資料の複製も受け付ける。

（目標値⑰ 相互協力貸出冊数 90,000冊）

イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立3館の間で連絡車を巡回させるとともに、県内の全ての市町村に対し、週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館間等の相互貸借の資料を搬送する。なお、7月より千葉大学附属図書館本館、亥鼻分館への巡回を開始する。

【連絡車・協力車巡回コース】

《県立間連絡車巡回コース》

曜日	図書館名
火・木曜日	県立中央 → 県立東部 → 県立西部 → 県立中央 → 県立東部

《中央図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	火曜日 金曜日
巡回施設	館山市図書館 南房総市千倉図書館 鴨川市立図書館 勝浦市立図書館 御宿町公民館 いすみ市夷隅公民館 大多喜町立図書館天賞文庫 陸沢町中央公民館 一宮町まちなかの図書室	鋸南町立中央公民館 富津市移動図書館 君津市立中央図書館 木更津市立図書館 袖ヶ浦市立中央図書館 市原市立中央図書館 長柄町中央公民館 長南町中央公民館 長生村文化会館 白子町青少年センター 茂原市立図書館	ふれあいプラザさかえ 成田市立図書館 富里市立図書館 八街市立図書館 酒々井町立図書館 佐倉市立佐倉南図書館 四街道市立図書館 千葉県教育振興財団 八千代市立大和田図書館 習志野市立大久保図書館 千葉県立保健医療大学 千葉大学附属図書館本館 千葉大学附属図書館亥鼻分館	千葉市

《西部図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	金曜日	木曜日	木曜日
巡回施設	千葉大学附属図書館松戸分館 松戸市立図書館 流山市立中央図書館 千葉県立流山はとおたかの森高等学校 野田市立興風図書館 さわやかちば県民プラザ 千葉県立柏の葉高等学校 柏市立図書館 我孫子市民図書館 千葉県立沼南高等学校 千葉県立沼南高柳高等学校 千葉県立松戸六実高等学校 千葉県立柏陵高等学校 千葉県立松戸国際高等学校	印西市立大森図書館 白井市立図書館 千葉県立白井高等学校 鎌ヶ谷市立図書館 千葉県立鎌ヶ谷高等学校 船橋市北図書館 市川市中央図書館 浦安市立中央図書館 千葉県立浦安南高等学校 千葉県立市川南高等学校	千葉県立松戸高等学校 千葉県立松戸馬橋高等学校 千葉県立小金高等学校 流通経済大学付属柏高等学校 柏市立柏高等学校 千葉県立柏高等学校 千葉県立柏中央高等学校 芝浦工業大学柏高等学校 千葉県立柏南高等学校 千葉県立船橋北高等学校 千葉県立船橋豊富高等学校 千葉県立船橋古和釜高等学校 千葉県立薬園台高等学校 船橋学園東葉高等学校 千葉県立船橋東高等学校 船橋市立船橋高等学校 千葉県立船橋旭高等学校 千葉県立船橋西高等学校 千葉県立船橋法典高等学校 千葉県立市川東高等学校 千葉県立市川工業高等学校 千葉商科大学附属高等学校 千葉県立松戸矢切高等学校 千葉県立松戸秋山高等学校 松戸市立松戸高等学校	松戸市

《東部図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
巡回施設	千葉県立佐原高等学校 香取市立佐原中央図書館 千葉県立佐原白楊高等学校 神崎ふれあいプラザ 千葉県立多古高等学校 多古町公民館 芝山町中央公民館 横芝光町立図書館 匝瑳市立八日市場図書館	千葉県立銚子商業高等学校 千葉科学大学 銚子市公正図書館 銚子市立銚子高等学校 東庄町図書館 千葉県立小見川高等学校 千葉県立東総工業高等学校 旭市図書館	九十九里町中央公民館 大網白里町図書室 千葉県立東金高等学校 東金市立東金図書館 城西国際大学 千葉県立成東高等学校 山武市成東図書館 千葉県立松尾高等学校	

ウ 協力レファレンス

市町村立図書館からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、外部データベースや図書館資料を使って援助を行う。

(目標値⑱ 協力レファレンス件数 1,400件)

エ 高等学校・大学・類縁機関等との連携

県内の類縁機関や大学、高等学校等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行う。

オ 担当者会議の開催

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力の円滑な推進を図るための会議を実施する。

(2) 研修事業

県内図書館等職員のスキルアップのため各種研修会を実施する。後掲「研修業務」参照

(3) 図書館運営相談

図書館の管理・運営やサービスの内容に関する質問等を市町村立図書館等から受け付け、あるいは定期的に施設訪問し、図書館運営相談に応じる。また、状況に応じて調査を行う。

(4) 図書館未設置市町村援助

図書館未設置の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレンス、運営相談等の援助を行う。

(5) その他

ア 行政支援

県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行う。

イ 新聞・雑誌総合目録の整備

県内公共図書館や文書館行政資料室、千葉県立保健医療大学、さわやかちば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を毎年更新してホームページ上で公開する。

ウ 読書活動援助

県内の読書活動を推進するため、千葉県読書グループ連絡会と協力して、千葉県読書グループ研修会を開催する。また、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫の整備を進める。

4 広報・啓発業務

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するために、「要覧」、「図書館報」「利用案内」、掲示等による広報、ホームページでの情報発信とともに、平成22年度は「国民読書年」にあたり、次のことを行う。

(1) 国民読書年関連業務

ア 国民読書年記念シンポジウム (中央図書館)

関東地区の公共図書館職員のほか、学校図書館、ボランティア、県民等にも参加を呼びかけ、「読書のたのしみと大切さを伝えるために」をテーマに、基調講演とパネルディスカッションを行う。

主催 関東地区公共図書館協議会、千葉県公共図書館協会

主管 千葉県立中央図書館

基調講演 「楽しい読書 役立つ読書」阿刀田 高氏

パネルディスカッション

イ 国民読書年記念歴史講座 (東部図書館)

「村落生活と和算－東総を中心に－」

講師 鈴木秀幸氏 (史学博士、明治大学前調査役・講師)

ウ 図書リスト、パスファインダーの作成・配布 (県立3館)

エ 児童図書の充実 (中央図書館)

オ 児童資料室の展示の充実 (中央図書館)

カ 図書館ボランティア講座 (西部図書館)

キ 障害者サービス講座 (中央図書館、西部図書館)

ク 図書館まなびトーク (西部図書館)

ケ 自然科学の読書啓発のための「サイエンスカフェ」(仮) (西部図書館)

コ その他

(2) 読書週間関連業務

ア 図書リスト、パスファインダーの作成・配布 (県立3館)

イ 読書普及のための資料展示 (西部図書館)

ウ その他

(3) こども読書週間関連業務

ア こども読書の日記念展示会の開催 (中央図書館、東部図書館)

イ 児童図書の充実 (中央図書館)

ウ 児童資料室の展示、ホームページの充実 (中央図書館)

エ 春のおはなし会 (中央図書館)

オ その他

(4) 読書県「ちば」関連業務

ア 「図書館まなびトーク」事業のまとめと普及のための情報発信 (西部図書館)

(5) その他

ア 県立図書館ホームページの充実

「子どものページ」の充実 (中央図書館)

イ 企画展示の開催

県民のニーズを踏まえた課題解決型の企画展示の開催 (中央図書館)

ゆめ半島千葉国体2010記念展示 (県立3館)

ウ その他

5 研修業務

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努める。

【中央図書館】

*開催年月日等は予定です。

事業名	年月日	会場	参加予定数	備考
公共図書館新任職員研修会	平成22年5月19日(水)	県文書館	70名	
公共図書館中堅職員研修会	平成22年9月29日(水)	中央図書館講堂	30名	
児童サービス基礎研修会	第1回 平成22年6月3日(木)	中央図書館講堂	40名	
	第2回 平成22年7月15日(木)	中央図書館講堂	40名	
	第3回 平成22年9月17日(金)	中央図書館講堂	40名	
	第4回 平成22年11月11日(木)	県文書館	40名	
地域行政資料研修会	平成22年7月1日(木)	中央図書館講堂	40名	
レファレンス研修会(基礎研修)	第1回 平成22年5月26日(水)	中央図書館講堂	40名	
	第2回 平成22年6月10日(木)	中央図書館講堂	20名	
	第3回 平成22年6月11日(金)	中央図書館講堂	20名	
レファレンス研修会(インターネット情報検索研修)	平成22年10月21日(木)	中央図書館講堂	20名	
レファレンス研修会(レファレンスサービス専門研修)	平成22年11月12日(金)	中央図書館講堂	40名	
千葉県読書グループ研修会	平成22年6月3日(木)	県文書館	100名	協力
図書館音訳者養成講座	平成22年11月18日(木)・25日(木)	中央図書館講堂	45名	
障害者のための読書支援機器活用講座	平成22年9月7日(火)・15日(水)・24日(金)	中央図書館講堂	20名	
盲ろう者のための読書支援機器活用講座	平成22年11月10日(水)	中央図書館講堂	10名	
障害者サービス講座(新規事業)	平成22年12月21日(火)	中央図書館講堂	10名	

【西部図書館】

*開催年月日等は予定です。

事業名	年月日	会場	参加予定数	備考
障害者サービス研修会	平成22年6月16日(水)	西部図書館研修室	30名	
図書館ネットワーク研修会	平成22年10月7日(木)	西部図書館研修室	30名	
資料補修研修会	平成22年12月9日(木)	西部図書館研修室	30名	
図書館音訳者養成講座(中級)		西部図書館研修室	30名	
	DAISY編集講座	平成22年6月9日(水)、7月2日(金)・21日(水)	西部図書館研修室	15名
	音訳者養成講座	平成22年11月17日(水)・24日(水)、12月1日(水)	西部図書館研修室	40名

【東部図書館】

*開催年月日等は予定です。

事業名	年月日	会場	参加予定数	備考
図書館運営研修会	平成22年6月25日(金)	東部図書館研修室	50名	
資料検索研修会	平成22年7月23日(金)	東部図書館会議室	15名	
図書館音訳者養成講座	平成22年9月1日(水)・8日(水)・15日(水)・29日(水)、10月7日(木)	東部図書館研修室	30名	

6 電算業務

(1) 業務系システム

県立図書館の電算システムは、昭和59年度から開発した独自システムを西部図書館開館時(昭和62年)に導入したのが最初である。平成8年度には同システムの改良版を中央図書館に、また、平成10年度に開館した東部図書館にも導入することにより、3館単独の電算システム運用体制が整備された。

その後、平成19年2月1日から、3館のシステムを統合した「千葉県立図書館統合電算システム」に移行し、中央図書館が管理・運用を行っている。次期電算システムについては、総務部情報政策課の開発支援を受け、導入の具体化を図る。

(2) インターネット系システム

「千葉県立図書館ホームページ」(<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>)については、中央図書館電算システムの更新に合わせて平成13年4月1日から公開した。同時に、県と市町村の図書館の蔵書が同時に検索できる「横断検索システム」を採用し、毎年度参加館を追加している(市町村の参加は平成22年2月末で33市3町1村67館)。今年度も参加館を募り、さらなる充実を図る。

(目標値⑦ ホームページへのアクセス件数 580,000件)

《横断検索参加自治体一覧》

(50音順)

参加年度	参 加 自 治 体
平成13年度	市川市、浦安市、香取市、佐倉市、千葉市、南房総市、四街道市
平成14年度	山武市、成田市、船橋市、八千代市、横芝光町
平成15年度	旭市、我孫子市、市原市、袖ヶ浦市、八街市
平成16年度	匝瑳市、富里市、松戸市
平成17年度	君津市、白井市、東金市
平成18年度	印西市、木更津市、銚子市
平成19年度	流山市、習志野市、野田市、茂原市
平成20年度	大網白里町、柏市、館山市
平成21年度	印旛村、鎌ヶ谷市、鴨川市、酒々井町
	自治体名は平成22年2月現在

【平成22年度図書館サービス目標】

区分	サービス評価指標	計画策定時の達成目標	平成22年度達成目標	達成方法
1 所蔵資料の充実	① 資料購入冊数	概ね現状維持 平成22年度目標 20,000冊 (平成19年度実績 20,062冊)	18,600冊 (93.0%)	平成21年度から3館の図書購入費が7%減額となったため、達成目標は当初よりも少なくなっています。3館でより一層緊密に連絡調整を行い、蔵書構築に支障が生じないように努めます。
	② 寄贈資料受入冊数	3年間で1%増 平成22年度目標 8,300冊 (平成19年度実績 8,195冊)	8,300冊 (100.0%)	寄贈依頼を積極的に行うとともに、計画的な資料の受入に努めます。
	③ 千葉県関係資料の受入冊数	3年間で6%増 平成22年度目標 3,200冊 (平成19年度実績 3,006冊)	3,200冊 (100.0%)	資料刊行情報の把握に努めるとともに、他機関とも連携して千葉県関係資料の網羅的な収集に努めます。
2 来館利用・情報アクセスの充実	④ 来館者数	3年間で1%増 平成22年度目標 508,000人 (平成19年度実績 503,078人)	508,000人 (100.0%)	広報誌やホームページで図書館の魅力をアピールするとともに、新着図書の紹介や、県民に役立つ課題解決型の企画展示を関係機関の協力を得て実施し、来館者増を図ります。
	⑤ 貸出冊数 (相互協力冊数を含む)		280,000冊 (平成20年度実績 272,211冊)	図書館や公民館等読書施設及び県民が求める資料を迅速、的確に提供するとともに、図書館の豊富な資料を展示、資料リスト、パスファインダーの作成等により紹介し、貸出冊数の増加(20年度対比3%増)を図ります。
	⑥ 来館者満足度	3年間で満足度70%以上(満足度6段階の上位2段階)を保ちながら、さらに向上するように努めます。	70%以上	利用者への接遇向上に努めるとともに、研修等により職員のスキルアップを図り、的確な対応で信頼度を高めるように努めます。
	⑦ ホームページへのアクセス件数	3年間で20%増 平成22年度目標 580,000件 (平成19年度実績 485,299件)	580,000件 (100.0%)	横断検索参加館の増加やホームページに掲載するコンテンツの充実を図ることにより、アクセス件数を増加させます。
3 レファレンスサービスの充実	⑧ レファレンス件数	概ね現状維持 平成22年度目標 32,000件 (平成19年度実績 32,634件)	32,000件 (100.0%)	レファレンスサービスの広報の充実を図るとともに、利用者への丁寧で的確な対応に努めます。
	⑨ 調査研究支援ツール作成件数	レファレンス事例集の充実を図るとともに、パスファインダーの作成に着手します。 a レファレンス事例データ提供:170件 b パスファインダーの作成・更新:30	a: 190件 (111.8%) b: 35件 (116.7%)	国会へのレファレンスデータ提出を継続的に行うとともに県民の調査研究を支援するためのパスファインダーの充実を図ります。
	⑩ 外部データベース件数	平成22年度目標 17件 (平成19年度実績 15件)	18件 (105.9%)	加除式の法規集や逐次刊行物をデータベースに置き換える等の、スクラップアンドビルドを3館で協議し、推進します。
4 千葉県関係情報の充実	⑪ 千葉県関係情報の発信	質的充実を図ります。	a: 8,300件 b: 4回	a: 研究に頻繁に使用される資料を選定し「千葉県関係索引データ検索」のデータの更なる蓄積に努めます。 b: 所蔵資料を活用し千葉県関係のテーマ展示を年3回実施するほか、県民に役立つ課題解決型の企画展示を1回以上開催します。
	⑫ 資料の電子化	千葉県関係の貴重資料を中心に電子化を行い、利用促進を図ります。 (平成19年度実績 328タイト	400タイトル	非来館型の利用者の調査研究に役立つよう、資料の状態や利用頻度、他機関の電子化状況を考慮して資料の公開に努めます。

5・ 学家庭の 校教育充 教教育実 育支援	⑬	学校教育支援・ 家庭教育支援の 質的充実	学校図書館運営の充実や子ども の読書活動の推進に向けた支援用 マニュアルの作成や連携の仕組み づくりに着手します。	『子どもの心を育てる図 書館ガイドブック』の改 定版を作成するととも に、関係機関と連携し、 連携方策や協力体制のあ り方について検討を進め ます。	生涯学習課、学校指導課及び 特別支援教育課等の協力を得な がら、検討を進めます。
6 児童サー ビスの充 実	⑭	児童書の貸出冊数 (相互協力冊数を含 む)	/	33,000冊 (平成20年度実績 31,769冊)	児童資料の充実を図るととも に、ホームページの充実や公民 館等読書施設および学校図書館 等の運営相談に努め、貸出冊数 の増加(20年度対比4%増) を図ります。
	⑮	児童サービスの研 修 内容の質的充実		児童サービス研修内容の質的充 実を検討し、段階的に充実しま す。	受講者アンケートで、理 解度・満足度ともに、8 5%以上を目指します。
7 障害者サ ービスの 充実	⑯	録音図書貸出 タイトル数	3年間で 10%増 平成22年度目標8,000タイトル (平成19年度実績7,307タイ トル)	8,000タイトル (100.0%)	県立図書館3館合同の録音図 書目録を作成・配布するととも に、録音図書の所蔵データを 「ないーぶネット」及び「びふ りおネット」に登録し、県内外 の視覚障害者等が、相互貸借に より録音図書を活用しやすい環 境づくりに努めます。
8 市町村 ネットワーク の充 実	⑰	相互協力貸出冊数	3年間で8%増 平成22年度目標 90,000冊 (平成19年度実績 83,415 冊)	90,000冊 (100.0%)	相互協力担当者会議の開催、 市町村立図書館等への訪問や運 営相談を通じて、県立所蔵資料 の利用促進を図ります。 市町村立図書館等職員や教職 員を対象とした研修会などで相 互協力について広報します。
	⑱	協力レファレンス 件数	概ね現状維持 平成22年度目標 2,800件 (平成19年度実績 2,793件)	1,400件 (50.0%)	図書館訪問・広報等で協力レ ファレンスの利用促進を促すと ともに、レファレンス事例の充 実や迅速で的確な回答に努める ことで依頼しやすい環境づくりに 努めます。
9 職員研 修等 の充 実	⑲	体系的・実践的な 研修の実施	体系的・実践的な研修方法を検 討し、段階的に研修の充実を図り ます。	体系的・実践的な研修 方法を検討し、段階的に 研修の充実を図ります。	体系的、実践的に必要な研修 策をまとめ、段階的に実施を図 ります。
	⑳	図書館ボランティ アの育成	3年間で 20%増 平成22年度目標 320人 (平成19年度実績 267人)	320人 (100.0%)	広報誌やホームページによ る、ボランティアの募集を図る とともに、音訳者研修等を実施 し、活動の場を提供します。

Ⅱ 事業報告

平成21年度事業報告

概況

県立図書館は、運営方針に基づき、県内公共図書館の中核としての県立中央図書館、県西部地域の図書館を援助する県立西部図書館、県東部地域の図書館を援助する県立東部図書館の3館の密接な連携により、県内公共図書館への援助、県内の中核的調査研究図書館としての情報・資料の提供、図書館未設置市町村の読書施設に対する資料援助や運営相談及び職員研修等の幅広い図書館活動を行った。

また、図書館サービス評価指標（22年度までの3年間）について外部評価制度の公表、パスマインダーの作成を行ったほか、中央図書館では関係機関の協力を得て県民の課題解決型の企画展示「ちば型食生活～図書館が応援します～」を、西部図書館では図書館を利用して生涯学習を行っている方々の発表の場として「図書館 まなびトーク」を開催した。東部図書館では、国民読書年（平成22年）事業の第一弾として図書館利用者から読書感想文を募集し、館報「知識は旅をする」に応募作品を掲載した。なお、県立図書館職員の資質向上を図るため、情報セキュリティと資料保存に関する研修会を各1回、中央図書館で開催した。

図書館事業概要

項目		館名	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計
資料整備	資料総数	受入冊数	11,011冊	5,512冊	9,892冊	26,415冊
		(内購入冊数)	(6,596冊)	(3,456冊)	(8,111冊)	(18,163冊)
		購入費	31,000千円	20,000千円	34,000千円	85,000千円
	蔵書数(平成22年3月末現在)	850,138冊	243,101冊	227,486冊	1,320,725冊	
新聞・雑誌・法規集	81紙・3,392誌・35種	93紙・650誌・9種	28紙・377誌・4種	202紙・4,419誌・48種		
サービス業務	利用状況	入館者数	95,577人	242,406人	191,644人	529,627人
		登録者数	13,646人	18,659人	11,082人	43,387人
		個人貸出	56,037冊	69,850冊	64,326冊	190,213冊
	資料複製サービス	160,525枚	75,906枚	15,374枚	251,805枚	
参考調査 照会・質問	14,323件	15,168件	6,604件	36,095件		
協力業務	図書館間貸出冊数	41,351冊	17,155冊	33,588冊	92,094冊	
	市町村立図書館等の相互貸出冊数	41,880冊	31,836冊	13,518冊	87,234冊	
管内人口(平成22年1月1日)						6,187,319人

備考 蔵書数にはマイクロ資料、視聴覚資料を含む。

1 資料の収集

(1) 県立全館の資料整備

県民の調査研究活動を支援するため、また、県内の市町村立図書館等への協力・援助を行うため、中央図書館・西部図書館・東部図書館が連携・分担して収集整備した。

資料整備実績

区分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計	目標値
購入図書資料	6,596冊	3,456冊	8,111冊	18,163冊 (97.4%)	18,644冊
寄贈図書資料	4,415冊	2,056冊	1,781冊	8,252冊 (100.6%)	8,200冊
千葉県関係資料 (購入・寄贈の内数)	2,195冊	756冊	832冊	3,783冊 (123.6%)	3,060冊
逐次刊行物(購入)	203タイトル	483タイトル	307タイトル	993タイトル	

※ () 内は、目標値に対する達成率

(2) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館除籍資料等を収集した。

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計	当初計画値
図 書	80 冊	161 冊	273 冊	514 冊	—
雑 誌	268 冊	467 冊	0 冊	735 冊	—

2 奉仕業務

来館する利用者に関覧、貸出し、資料複製等のサービスを実施し、県民から寄せられる口頭、電話、メール、文書等による、資料に関する調査・相談等に応じた。千葉県関係資料、児童サービスでは中央図書館が県内のセンター館としての活動を行い、障害者サービスは県立図書館3館が連携・協力してサービスの充実に努めた。また、中央図書館では、千葉県農林水産部安全農業推進課等の協力を得、企画展「ちば型食生活～図書館が応援します」を実施した。参考業務では、県民が資料・情報を効率的に探せるようにパスファインダーの作成に着手した。

【中央図書館】

21年度の新規事業として、「盲ろう者対応読書支援機器活用講座」を実施した。児童サービスでは、絵本の読み聞かせ等の講師に職員を積極的に派遣した。障害者サービスでは3館統一の「障害者サービス実施要項」の施行、「障害者サービス利用案内」「録音図書電子資料目録」を作成した。

<平成21年度実施事業>

事 業 計 画	実 施 状 況
定例おはなし会 毎週土曜日 午後	全48回 語り手 当館児童資料室司書他 参加者延べ303人 平均6.3人/回
図書館活用ミニ講座 第2金曜日 第4日曜日	「県立図書館OPACの使い方」等全9回 講師 当館職員 参加者延べ12人 平均1.3人/回
図書館音訳者養成講座 全2回	7月16日(木)、17日(金)「音訳に役立つレファレンスツールについて」講師 朝日カルチャーセンター 講師 松本久美子氏 参加者延べ35人 平均17.5人/回
子どもの本の読み聞かせ講座 全2回	市原会場 10月29日(木) 講師 船橋市・にんじん文庫 入交静氏 参加者36人 館山会場 1月28日(木) 29日(金) 講師 船橋市・ゆか下文庫 小谷孝子氏 参加者延べ71人 平均35.5人/回
冬のおはなし会 全2回	12月5日(土) 語り手 当館児童資料室司書他 参加者 午前の部 25人 午後の部 17人
アトペンチャーライブラリー(図書館探検) 1回	2月14日(日) 参加者 小学生2人
書庫見学会 第2金曜日 第4日曜日他	全18回 参加者延べ56人 平均3.1人/回
障害者用読書支援機器活用講座	9月9日(水) 9月16日(水) 11月27日(金) 参加者延べ49人 平均16.3人/回
講師派遣(読み聞かせ等) 全16回	当館司書 大石豊、中野晶子、平塚明子等 参加者延べ1,117人
盲ろう者対応読書支援機器活用講座	12月9日(水) 参加者 9人

出版放送関係への資料提供

平成21年度：11件

資料名	出版物・番組名	出版・製作者名
関宿土産	県広報番組 ウィークリー千葉 県	千葉県総合企画部報道 広報課
世喜宿土産（関宿土産）	町史 五霞の生活史 水と五霞	茨城県五霞町教育委員 会

【西部図書館】

県民の図書館利用の拡充を図るため、図書館を利用して生涯学習を行っている方々の発表の場として「図書館まなびトーク」（ワンポイント図書館活用講座同時開催）を4回開催した。障害者サービスについては、DAISY再生機活用紹介と利用者・音訳者交流会を含めた「障害者用読書支援機器活用講座」を開催したほか、読書相談・利用案内など、幅広い情報提供に努めた。また、図書館ボランティア養成のための講座を開催するとともに、県関係機関の協力による「就業応援コーナー」を新たに設置した。

<平成21年度実施事業>

事業計画	実施状況
図書館まなびトーク 4回	5月22日(金) 演題「良寛和尚の足跡」発表者 細井法氏 演題「無害な核エネルギーと中央アジアの資源大国 カザフスタンの将来展望」発表者 岡戸大国氏 参加者24人 7月24日(金) 演題「無いものを図書館で探す」発表者 末満宗治氏、演題「調べることはおもしろい…… ～自然誌関係文献目録編集の経験から～」発表者 三沢博志氏 参加者37人 10月30日(金) 演題「豊富な史料を利用して学習～天文 と古代人の関わり～」発表者 佐久間直次氏、 演題「図書館を書斎に！ 読書会100回余とポスト モダン」発表者 中條藏實氏 参加者31人 2月26日(金) 演題「ホーキングの「時間順序仮説」を 読んで考えさせられるもの」発表者 岩渕梧郎氏、 演題「”自分なりの図書館利用法”－新聞・雑誌を 読む－」発表者 石橋勲氏 参加者21人
ワンポイント図書館活用講座 4回 (図書館まなびトーク同時開催)	5月22日(金)「良寛の自画像を探す」、「カザフスタ ンについての資料を探す」(参加者24人) 7月24日(金)「千葉県の地図を探す」(参加者37人) 10月30日(金)「暦について調べる」(参加者31人) 2月26日(金)「新聞・雑誌で調べる」(参加者21人) ※各講座の講師：西部図書館職員
図書館音訳者養成講座(中級) 4回	11月4日(水)「千葉県立図書館における障害者サービ スの状況」報告者 千葉県立中央・西部・東部図書 館担当職員、「音訳者のための発声について」講師 フリーアナウンサー 高山久美子氏 11月11日(水)、18日(水)「同上」講師 フリーアナウ ンサー 高山久美子氏 11月25日(水)「効率的なDAISY製作」講師 NPO法人「点 訳音訳集団一步の会」理事長 岩野英夫氏、ほか 参加者延べ51人

	1月16日「紅いコーリャン」 チャン・イーモウ監督 1987年 2月20日「美女と野獣」 ジャン・コクトー監督 1946年 3月20日「こねこ」 イワン・ポポフ監督 1996年 参加者延べ264人 平均24人／回
資料展示 展示コーナー 4回 資料紹介コーナー 12回	展示コーナー 4回実施 (4月～7月)「2009年 生誕100年の人々」 (7月～10月)「日本漫画の世界 ～昭和編～」 (10月～12月)「世界の名作映画 ～アカデミー賞受賞作品を中心に～」 (1月～4月)「日本の古典芸能 第二幕 文楽、能・ 狂言、講談」 資料紹介コーナー 12回実施
図書館の達人(初級編) 毎月第2日曜日 全9回	5月10日、6月14日、7月12日、8月9日、9月13日、 11月8日、12月13日、1月10日、2月14日 参加者 延べ20人

3 協力・援助業務

市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行った。また、県立3図書館間、県立図書館及び市町村立図書館間に連絡車・協力車を定期的に巡回させ、相互貸借の資料を搬送した。

さらに、市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等に対して、運営相談・協力レファレンス等を通じた援助を行うとともに、高校・大学及び類縁機関等との連携、読書活動の充実に努めた。

21年4月から白子町、長南町、御宿町の3町が千葉県公共図書館協会へ加入したことにより、県内全市町村による相互貸借のネットワークが整備された。

【中央図書館】

ア 市町村立図書館等相互協力担当者会議

40市町村 43人出席

イ 行政支援

県民生活の維持向上などに係る施策を企画・立案している県庁各課へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行った。(貸出冊数 1,045冊)

ウ 県内の読書活動を推進するため、千葉県読書グループ連絡会に協力して、千葉県読書グループ研修会を開催した。また、読書会用のテキストとして十冊文庫を整備した。

<十冊文庫>

整備数 16 (総タイトル数 1,369)

【西部図書館】

ア 市立図書館相互協力担当者会議

・11市 2回開催 計43人出席

イ 新聞雑誌総合目録データ

千葉県公共図書館協会加盟館及び千葉県文書館、千葉県立保健医療大学、さわやかちば県民プラザが所蔵する新聞・雑誌のデジタルデータを提出してもらい、県立図書館ホームページで公開した。

ウ 広報・支援活動

市立図書館への広報として3館での相互協力NEWS担当発行と共にエリア内へのメールマ

ガジン“Ciao Ciao” 6回発行。また図書館及び連携する高等学校に対する運営相談を実施した。(図書館55回、高等学校16回)さらに高等学校支援として各教科・総合的な学習の時間での活用事例集やワンポイントアドバイスの配布等を行なった。

【東部図書館】

ア 市町立図書館等相互協力担当者会議

11市町 23人出席

イ 市町立図書館及び未設置町公民館図書室に対する運営相談

図書館及び公民館図書室等に対し延べ80回の運営相談を実施した。

ウ 高等学校等支援

- ・東総地区高等学校図書委員連絡協議会と共催で総会及び研究会を開催。絵本の読み聞かせの実践について講義と実技を行った。(11校、生徒32人、引率職員15人)

- ・進路学習への協力

千葉県立成東高等学校の進路学習のための特別授業としての大学模擬講義に対し、事前学習用資料を提供した。

- ・運営相談の実施

東部図書館奉仕対象地域内の高校20校及び大学2校に対し、延べ84回の運営相談を実施した。

4 研修事業

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努めた。

【中央図書館】

事業計画	実施状況
公共図書館新任職員研修会 1回 参加予定数70人	5月13日(水)「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサービス及び相互協力業務等」講師 当館司書 大石豊、高橋正名、平塚明子、中野晶子 参加者78人
公共図書館中堅職員研修会 1回 参加予定数30人	9月25日(金)「図書館サイトでソーシャル系サービスを使い倒す!」講師 岡本真氏 参加者19人
児童サービス基礎研修会 全4回	第1回 6月4日(木)「児童奉仕概論」講師 船橋市中央図書館館主査 夏原清美氏 参加者29人 第2回 7月9日(木)「絵本・物語の選書について」講師 柏市立図書館副主幹 利光朝子氏 「おはなし会の運営について①」講師 当館館内奉仕課長 伊藤博 参加者31人 第3回 9月3日(木)「ノンフィクションの選書」講師 千葉市美浜図書館主査 山田吟子氏 「おはなし会の運営について②」講師 当館司書 平塚明子 参加者30人 第4回 12月10日(木)「レファレンスについて」講師 当館司書 高梨涼子 「すべての子どもに本の楽しみを」講師 県立君津特別支援学校教諭 佐藤泰代氏 「障害児に配慮された本について」講師 当館副主査 松井 進 参加者42人 延べ132人 平均33人/回

地域行政資料研修会 1回 参加予定数40人	7月2日(木)『『千葉県の歴史』について』 講師 千葉県文書館県史・古文書課副主幹 松浦眞二氏 「地域行政資料の探し方入門」 当館司書 山田浩子 「ビギナーのための郷土資料入門」 当館主査 亀井みゆき 参加者 32人
レファレンス研修会 レファレンスサービス基礎研修 2回 参加予定数80人	6月5日(金)「レファレンスサービス実践の基礎」 講師 当館司書 大石豊 「レファレンスインタビュー 利用者への対応」 講師 当館司書 赤沼知里 「クイックレファレンス演習・基本参考図書解題」 講師 当館司書 大石豊、赤沼知里 参加者31人 6月16日(火) 17日(水)「インターネットを活用した調べ方」 講師 当館司書 安永はるみ、奈良伸一郎 参加者38人
レファレンス研修会 インターネット情報検索研修 1回 参加予定数20人	10月22日(木)「インターネットによる情報検索事例の検討」 講師 青山学院大学教授 小田光宏氏 参加者16人
レファレンス研修会 レファレンスサービス専門研修 1回 参加予定数40人	3月12日(金)「インターネットで使えるレファレンスツール(「リサーチ・ナビ」を中心に)」 講師 国立国会図書館主題情報部参考企画課 兼松芳之氏、北村弥生氏 「千葉市のパスファインダー作成の実際について」 講師 千葉市中央図書館調査班主査 長塚裕美子氏 「千葉県立中央図書館のパスファインダー作成の実際について」 講師 当館司書 赤沼知里 参加者36人
千葉県読書グループ研修会(協力) 1回 参加予定数50人	11月4日(水) 講演「本の楽しさ読書の楽しさ」 野口芳宏氏 参加者55人
図書館音訳者養成講座 全2回 参加予定数30人	前掲(P14)
障害者用読書支援機器活用講座	前掲(P14)
盲ろう者対応読書支援機器活用講座	前掲(P14)

【西部図書館】

事業計画	実施状況
図書館ネットワーク研修会 1回 参加予定数40人	10月9日(金)「公共図書館はインターネットをどう活用できるのか?」講師 ゆうき図書館副館長 笹沼崇氏 「我孫子市民図書館の郷土情報発信」発表者 我孫子市民図書館主任司書 穂村喜代子氏 参加者 40人
資料補修研修会 1回 参加予定数30人	12月10日(木)「図書館資料の補修方法について」 講師 キハラ(株) 高尾齋氏 参加者 26人
障害者サービス研修会 1回 参加予定数40人	6月24日(水)「聴覚障害者への図書館サービス」 講師 (社)日本図書館協会障害者サービス委員会 委員 渡辺修氏、「聴覚障害者の求める読書環境」 発表者 市川市中央図書館資料・情報サービス担当 小川夏恵氏 参加者 31人

図書館音訳者養成講座（中級） 全4回 参加予定数 各回51人	前掲（P15）
-----------------------------------	---------

【東部図書館】

事業計画	実施状況
図書館運営研修会 1回 参加予定数50人	6月18日（木）「情報の発信拠点としての図書館」事例報告 ○図書館まなびトークについて 講師 県立西部図書館司書 金井紀子氏 ○マンガ戦争体験記の編集をとおして 講師 生涯学習一級インストラクター 堤輝彦氏 参加者 18人
公民館図書室等・学校図書館職員のための資料検索研修会 1回 参加予定数15人	7月24日（金）県立図書館ホームページの検索等を体験することにより、利用者の求めに的確に応え、相互協力の一層の活用を促すための講義及び実習 講師 当館司書 藪 竜太 参加者 5人
図書館音訳者養成講座 全5回 参加予定数30人	前掲（P16）

5 電算業務

横断検索参加自治体に4市町村（鴨川市、鎌ヶ谷市、酒々井町、印旛村～印旛村は、その後、印西市と合併）を追加したので、平成21年度末の参加自治体数は33市3町（66館）となった。

《横断検索参加自治体一覧》

参加年度	参加自治体
平成13年度	千葉市、市川市、佐倉市、浦安市、四街道市、南房総市、香取市
平成14年度	船橋市、成田市、八千代市、山武市、横芝光町
平成15年度	旭市、市原市、我孫子市、袖ヶ浦市、八街市
平成16年度	松戸市、富里市、匝瑳市
平成17年度	東金市、君津市、白井市
平成18年度	銚子市、木更津市、印西市
平成19年度	野田市、茂原市、習志野市、流山市
平成20年度	館山市、柏市、大網白里町
平成21年度	鴨川市、鎌ヶ谷市、酒々井町、印旛村（現印西市）

【平成21年度千葉県立図書館の運営状況の評価】

平成22年7月7日
千葉県図書館協議会

1 総 評

厳しい財政状況の中で、サービス評価指標の達成目標をはるかにこえる実績を上げている事業が多く、県立図書館としての質をきちんと確保する運営がなされている。

特に、前年度新たに取り組んだ「県民の課題解決型の企画展示」や「利用者による調査研究の発表についての企画」は県立図書館らしい「地域に貢献する、地域に密着したサービス」として評価できる。

なお、今後も県下全体の図書館サービスの向上のために、家庭教育や学校支援の質的充実がはかれ、県立図書館の利用度を高めるよう、市町村のニーズや図書館界の動向に応じた充実した内容となるよう努力された。

2 個別評価指標の達成状況の評価

区分	サービス評価指標	達成目標	平成21年度達成状況	自己評価	摘要
1 所蔵資料の充実	① 資料購入冊数	概ね現状維持 平成21年度目標 18,600冊 (平成22年度目標 20,000冊)	18,163冊 (97.4%)	B	図書購入費7%減額を踏まえ、3館でより緊密に連絡調整を行い分担して資料整備に努めた。
	② 寄贈資料受入冊数	3年間で1%増 平成21年度目標 8,200冊 (平成22年度目標 8,300冊)	8,252冊 (100.6%)	A	ホームページや図書館報に寄贈資料の依頼を掲載するなど広く寄贈を呼びかけるとともに、寄せられた資料の選書・受入れを計画的にすすめた。
	③ 千葉県関係資料の受入冊数	3年間で6%増 平成21年度目標 3,060冊 (平成22年度目標 3,200冊)	3,783冊 (123.6%)	A	千葉県関係資料に関するさまざまな刊行情報の入手に努め購入するとともに、県行政資料や一般に流通しにくい資料等については発行者に積極的な働きかけを行うなど、収集資料の充実を努めた。
2 情報利用・サービスの充実	④ 来館者数	3年間で1%増 平成21年度目標 505,740人 (平成22年度目標 508,000人)	529,627人 (104.7%)	A	新規の企画展や発表会を開催する等、図書館の魅力をPRし利用促進に努めた。
	⑤ 来館者満足度	3年間で満足度70%以上(満足度6段階の上位2段階)を保ちながら、さらに向上するように努めます。	72.6%以上 (103.7%)	A	館内研修の充実を図り、業務実例の共有化を徹底し、サービスの向上に努めた。
	⑥ ホームページへのアクセス件数	21年度目標70% 3年間で20%増 平成21年度目標 555,000件 (平成22年度目標 580,000件)	550,288件 (99.2%)	B	横断検索の参加自治体を増やしたり、企画展示の内容をホームページで公開するなど情報発信に努めた。
3 レファレンスサービスの充実	⑦ レファレンス件数	概ね現状維持 平成21年度目標 31,110件 (平成22年度目標 32,000件)	36,095件 (116.0%)	A	メールレファレンスの件数が増加し、依頼方法として定着してきている。ホームページの蔵書検索により、簡易なものは減少し解決困難なものを中心となってきた。
	⑧ 調査研究支援ツール作成件数	レファレンス事例集の充実を図るとともに、パスファインダーの作成に着手します。 a レファレンス事例データ提供:100件 b パスファインダーの作成・更新:20件 (a:22年度:170件)	a: 119件 (119.0%) b: 23件 (115.0%)	A	調査研究支援ツールの本格的な運用が軌道に乗り、一定の進捗をみた。
	⑨ 外部データベース件数	平成21年度目標 19件 (平成22年度目標 17件)	18件 (94.7%)	B	3館の外部データベースの導入方法や課題について検討した結果、県民の課題解決に迅速に対応される法情報データベース等を導入することとした。
4 千葉県関係情報の充実	⑩ 千葉県関係情報の発信	質的充実を図ります。	a: 13,192件 (112.8%) b: 4回	A	a:「千葉県関係新聞・雑誌記事索引検索」のデータの入力に力を入れ、前年度の実績に比べ13%増の情報発信ができた。 b:千葉県関係のテーマ展示を3回実施した。また関連部局と連携し県民の課題解決型の企画展示を1回開催した。
	⑪ 資料の電子化	千葉県関係の貴重資料を中心に電子化を行い、利用促進を図ります。 平成21年度目標 350タイトル	355タイトル (101.4%)	A	新たに和装本、錦絵、明治時代の人名事典など36タイトルを選定し電子データを作成した。

5・ 学校 家庭 教育 教育 支援 支援	⑫	学校教育支援・ 家庭教育支援の 質的充実	学校図書館運営の充実や子どもの 読書活動の推進に向けた支援用 マニュアルの作成や連携の仕組み づくりに着手します。	学校図書館の活動に関 する情報収集に努めた。 マニュアルの作成に向け て項目を検討した。	B	生涯学習課、指導課及び特別 支援教育課等と連携によるプロ ジェクトチームに参加した。
6 児童 の充 実 サー ビス	⑬	児童サービスの研 修 内容の質的充実	児童サービス研修内容の質的充 実を検討し、段階的に充実しま す。	参加者のニーズを把握 するため、アンケートを 実施した。 また、事前課題を課 し、質的充実、研修達成 度を高めるようにした。	A	公共図書館協会研修・研究委 員会における調査結果や生涯学 習課、指導課及び特別教育支援 課等と連携して学校図書館の意 向把握に努め、研修の質的充実 に努めた。
7 障 害 者 の充 実 サー ビス	⑭	録音図書貸出 タイトル数	3年間で 10%増 平成21年度目標7,840タイトル (平成22年度目標8,000タイト ル)	8,987タイトル (114. 6%)	A	録音図書の目録をインター ネット上に公開したり、電子 メールでの録音図書リクエスト の受付を開始する等、利用促進 に努めた。
8 市 町 村 援 助 ・ 図 書 館	⑮	相互協力貸出冊数	3年間で 8%増 平成21年度目標 88,000冊 (平成22年度目標 90,000 冊)	92,094冊 (104.7%)	A	市町村立図書館等を訪問し、 運営相談を行うとともに、図書 館職員や学校図書館職員に対し て、相互協力マニュアルやハン ドブックを活用しながら利用の 促進をPRした。
	⑯	協力レファレンス 件数	概ね現状維持 平成21年度目標 2,760件 (平成22年度目標 2,800 件)	1,247件 (45.2%)	C	レファレンス件数の減少は、 ホームページの蔵書検索の充実 により、簡易なものが調べやす くなったことによるが、図書館 訪問・広報等で協力レファレン スの利用促進を促すとともに、 レファレンス事例の充実や迅速 で的確な回答をすることで依頼 しやすい環境づくりに努めた。
9 職 員 研 修 等 の 充 実	⑰	体系的・実践的な 研修の実施	体系的・実践的な研修方法を検 討し、段階的に研修の充実を図り ます。	研修事業のあり方検討 チームを設置し、千葉県 公共図書館協会研修・研 究委員会と連携して、1 1月に県内の公共図書館 等を対象にした「研修 ニーズ調査」を実施し た。 また、千葉経済大学短 期大学部との共催で、市 町村への講師派遣による 連携研修会を館山市、山 本町で開催した。	A	「研修ニーズ調査」の結果を 千葉県公共図書館協会協会理事 会で報告した。平成22年度以 降の研修の企画・立案に生かし ていくために、協会と県立図書 館3館で情報を共有した。
	⑱	図書館ボランティ アの 育成	3年間で 20%増 平成21年度目標 300人 (平成22年度目標 320人)	363人 (121%)	A	新たに図書館ボランティア体 験講座を実施した。

【自己評価基準】

ランク	評価内容	評価の目安
A	目標達成	100%以上
B	目標をほぼ達成	概ね90%以上100%未満
C	一定の成果はあった が未達成	50%以上90%未満
D	目標を著しく未達成	50%未満又は未着手
-	評価対象外	次年度以降に着手予定

Ⅲ 資料編

1 沿革

年 月	中 央 図 書 館
明治25. 5	本県初の図書館千葉県教育会附属書籍館 <small>（県立図書館の前身）</small> が千葉市本町立真社楼 上に開館
29. 9	千葉県教育会附属図書館猪鼻台に建設
32. 11	図書館令公布
40. 6	千葉県通俗巡回文庫開始
42. 3	千葉県通俗巡回文庫の運営を千葉県教育会附属図書館に委託
大正13. 3	「御成婚記念千葉県図書館」の設置を文部大臣認可 県教育会附属図書館を県に移管し、物産陳列館を仮館舎として開館
15. 11	千葉県図書館協会発足
昭和 5. 3	館報「千葉県図書館報」創刊（のちの「千葉文化」）
6. 7～8	最初の臨海図書館を千葉市出津海岸に開く
8. 7	図書館令施行規則公布
10	図書館令等の改正に伴い、知事から県中央図書館の指定
9. 7	県立図書館新館舎落成 11月10日開館
10. 8	県立図書館初代専任館長任命
23. 4～7	5分館（香取、山武、君津、海匝、安房）設置
24. 8	全国初の移動図書館誕生 名称「訪問図書館ひかり号」 9月14日から、市原、長生、夷隅地区巡回開始
25. 4	図書館法公布
26. 1	図書館法制定に伴う千葉県図書館設置条例の公布・施行により名称が「千葉県立中央図 書館」となる
2	千葉県立中央図書館協議会設置
27. 4	移動図書館の全県巡回開始
29. 1	3分館（長生、安房館山、夷隅）設置
32. 4	教育機関設置条例公布・施行
7	千葉県公共図書館協会発足
39. 1	県警察本部庁舎新築のため書庫の大部分を取り壊し、図書を閲覧室に移動 閲覧室を 仮設
43. 6	県立中央図書館新館舎落成（現館舎） 9月開館
49. 4	教育機関組織規則の改正により調査課設置

年 月	共通・中央図書館	西部図書館
昭和51. 9		「千葉県新総合5か年計画」で東葛飾ブックセンターの設置計画を策定
52. 6	図書館協議会答申「県立中央図書館運営の基本方針について」において、県内4地域にブックセンター設置構想を提示	
10	「図書館協力車」、東葛飾地域等の市立図書館8館を対象に巡回開始	
53. 5	書庫増築工事（第1次）完成	
54. 7		図書館計画施設研究所に「仮称千葉県立北部図書館建設計画」基本調査を委託
54. 11		上記計画を策定
56. 4	「千葉県第2次新総合5か年計画」で東葛飾ブックセンターの松戸市への設置計画を策定	（仮称）東葛ブックセンター
57. 3	対面朗読室（2室）設置	
59. 3	書庫増築工事（第2次）完成	
59. 4	図書館協力車の図書館設置市町への全県巡回を実施	
59. 6		基本設計・実施設計を委託
60. 4		県教育庁社会教育課内に「西部図書館（仮称）準備班」を置き、業務を開始
60. 6		建設工事着工
62. 3	県立図書館の8分館を廃止	建設工事竣工
62. 4	移動図書館の貸出しを未設置市町村の読書施設への一括貸出方式に変更	「教育機関設置条例の一部を改正する条例」が議決され、県立西部図書館として機関設置（4月1日）
7		開館 電算機導入
平成 2. 7		書庫棟増築の基本設計を委託
9	千葉県社会教育委員会議から「生涯学習社会における県立図書館の整備について」の答申が出され、新県立中央図書館（仮称）及び県立地域図書館の整備等を県教育委員会に提言	
3. 5		書庫棟増築の実実施設計を委託
6		増築関連工事を実施
10	「千葉県立図書館基本構想検討委員会」設置（県教育委員会）	本体建築工事着工
4. 3		「West Library」第1号刊行

年 月	共 通	中央図書館
平成 4. 4 8 9 10 5. 3		
5. 4 7	県立図書館の日曜全日開館開始	
6. 3	「千葉県立図書館基本構想」を策定（県教育委員会）	
6. 4 10		
8. 2		
8. 4 10		図書館業務に電算機導入
9. 4 10. 3		図書館未設置市町村に対するサービスを来館方式とし、移動図書館車の巡回を廃止
10. 4 7 11	個人貸出冊数を2冊から5冊（中央図書館は3冊）に変更	平成10年度文部省委嘱事業「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」実施（～11.3）
11. 4 12 12. 3		国の緊急地域雇用対策特別基金事業に基づくデータ遡及入力（～13年度）
13. 3		一般閲覧室及びレファレンスルームのリニューアル実施
13. 4 7 14. 3	千葉県立図書館ホームページ公開 横断検索システム開始 協力車を全市町村へ巡回（業者委託） 「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が図書館法第18条の規定に基づき制定	電算機更新 新聞雑誌室、郷土資料室及び児童資料室のリニューアル実施

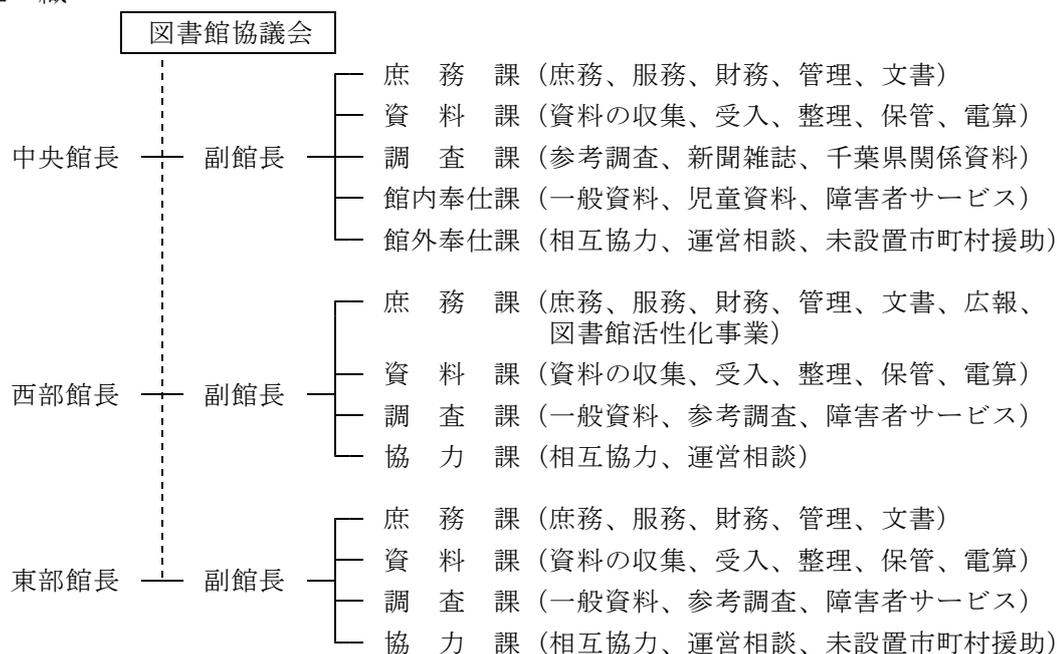
年 月	西部図書館	東部図書館
平成 4. 4	電算更新	県教育委員会が東部地域図書館の整備を決定
8	書庫棟増築部分の閲覧席使用開始	
9	書庫棟関連工事完了	
10	利用者用電算端末機設置	
5. 3	「千葉県立西部図書館書誌情報データベースCD-ROM版」(名称: Welcome) 発行	
5. 4		「千葉県立東部地域図書館(仮称)設置準備委員会」設置
7		
6. 3		「千葉県立東部地域図書館(仮称)基本計画」策定
6. 4		県生涯学習部社会教育課内に「県立図書館準備班」設置
10		「千葉県立東部地域図書館(仮称)基本設計」完了
8. 2		「千葉県立東部地域図書館(仮称)実施設計」完了
8. 4		建設工事着工
10		
9. 4	電算機更新	「県立図書館準備班」の名称が「東部図書館準備班」に改称
10. 3		建設工事完了
10. 4		「東部図書館準備班」旭市で開館準備業務開始
7		
11		
11. 4		「千葉県立東部図書館」として機関設置(11月1日)開館
12		奉仕対象地域内高等学校図書館への資料貸出等を開始
12. 3		中国語図書所蔵目録刊行開始
12. 3		韓国・朝鮮語図書所蔵目録刊行開始
13. 3		
13. 4		
7	入館者数300万人突破	
14. 3		「知識は旅をする」第1号刊行

年 月	共 通	中央図書館
平成14. 4	県立図書館の祝日開館開始	国の緊急地域雇用対策特別基金事業に基づくデータ遡及入力（～16年度） 郷土資料室を千葉県資料室に名称変更 カラーコピーサービス開始 個人貸出冊数を3冊から5冊に変更
5		
8		
12		
15. 3	「千葉県子どもの読書推進計画」策定	
15. 4		
6		
8		
16. 8		
10		
17. 3		
17. 4		県立中央図書館の一括貸出を廃止し、図書館間貸出しに一本化
10	「文字・活字文化振興法」が成立	
18. 4		アスベスト除去工事完了 ないーぶネットの導入
7		
10		
19. 1	千葉県立図書館協議会から「これからの時代に求められる千葉県立図書館の在り方について」答申	
2	電算システムの更新 千葉県立図書館統合電算システム稼働 インターネット図書予約システム、メールレファレンス、所蔵貴重書画像の公開の開始	インターネット情報検索用パソコン等による情報検索環境を整備
19. 4		教育庁への情報提供サービスを開始（試行）
7		
20. 2		情報提供サービスの対象を全庁へ拡充
3	相互協力支援システムを試行で導入	
20. 4	相互協力支援システムを本格実施	びぶりおネットの導入
11		
12	千葉県立図書館サービス評価指標（平成20年度～平成22年度）設定、第三者評価導入	
21. 6		
22. 3		電動書庫改修工事完了

年 月	西部図書館	東部図書館
平成14. 4	電算機更新、インターネットによる検索環境を整備（利用者用13台、持込用席4席）	
5	奉仕対象地域内高等学校図書館との相互協力業務開始	
8	カラーコピーサービス開始	
12	奉仕対象地域内高等学校図書館に対する協力車巡回サービス開始	
15. 3		
15. 4		電算機更新、インターネット情報検索用パソコン等による情報検索機能を整備
6	メールレファレンス（試行）の受付開始	
8		入館者数100万人突破
16. 8		「中国語図書目録」「韓国・朝鮮語図書目録」をホームページ公開
10	インターネットによる検索環境の見直し(利用者用16台・持込用席7席)	
17. 3	入館者数400万人突破	
17. 4		カラーコピーサービス開始
10		
18. 4	ないーぶネットの導入	
7		
10		
19. 1		
2	インターネットによる検索環境の見直し(利用者用24台)	
19. 4		ないーぶネットの導入
7	開館20周年記念事業開催	
20. 2		
3		
20. 4		入館者数200万人突破
11		開館10周年記念事業開催
12		
21. 6	入館者数500万人突破	
22. 3		

2 組織・職員

(1) 組織



(2) 職員

(平成22年4月1日現在)

館名	職名 課名等	館長	副館長	課長	主任 司書	主査	司書	副主査	主任 主事	主事	主 任 主 務 員	主 任 主 務 員	小計	嘱託	合計
中央図書館	館長・副館長	1											1		1
	副館長		1 (1)										1 (1)		1 (1)
	庶務			1					1				2		2
	資料			1 (1)			1 (1)		1				3 (2)		3 (2)
	調査			1 (1)	1 (1)								4 (1)	1 (1)	5 (2)
	館内奉仕			1 (1)		2 (1)	3 (3)						5 (4)	1 (1)	6 (5)
	館外奉仕			1				1					2 (1)		2 (1)
	館外奉仕			1			1 (1)						5 (4)	3 (2)	8 (6)
	小計	1		5 (3)	1 (1)		2 (2)	1	1	1		1	12 (6)	0 (0)	12 (6)
	小計		1 (1)			8 (1)	8 (8)	2 (1)				1	1	21 (11)	7 (6)
西部図書館	館長・副館長	1	1 (1)										2 (1)		2 (1)
	庶務			1				1		1			2		2
	資料			1 (1)		2	1 (1)						1 (1)		1 (1)
	調査			1 (1)		1	1 (1)			1 ##			4 (2)	1 (1)	5 (3)
	協力			1		1	2 (2)			1			4 (2)	5 (5)	9 (7)
	協力			1		1 (1)	1 (1)						1		1
	小計			2 (1)		1	2 (2)	1		1 (0)			7 (3)		7 (3)
小計	1	1 (1)	2 (1)		4 (1)	3 (3)		1 (1)	2 (1)			14 (8)	8 (8)	22 (16)	
東部図書館	館長・副館長	1 (1)	1 (1)										2 (2)		2 (2)
	副館長												0		0
	庶務			1		1			1				1		1
	資料			1 (1)									3		3
	資料			1 (1)		1	1 (1)						1 (1)		1 (1)
	調査			1 (1)		1	1 (1)			1			2 (1)	1 (1)	3 (2)
	調査			1 (1)		1	1 (1)						4 (2)		4 (2)
協力			1									1	7 (6)	8 (6)	
協力			1									1		1	
小計	1 (1)	1 (1)	3 (2)		1	1 (1)			2			9 (5)		9 (5)	
小計			1		5	1 (1)		1				8 (1)	9 (8)	17 (9)	
合計	男	2	1 (1)	10 (6)	1 (1)	2 (0)	5 (5)	2	1	4			28 (14)	0 (0)	28 (14)
	女	1	2 (2)	3 (1)		17 (2)	12 (12)	2 (1)	2 (1)	2	1	1	43 (20)	24 (22)	67 (42)

() 内は司書有資格者数で内数。